

第25号

本小の教育「授業改善研」

6年互授

◦本小授業改善「主体的・対話的な深い学び」

今回「6学年の互見授業」は、「紗弥先生の3年研授業」へ向けての「検証授業」であった。授業当日は、3年研・グループの3人の先生方と、いつもお世話になっている国頭教育事務所指導主事の比嘉淳先生と、「夏季校内研・講師」の義務教育課・指導主事の山内かおり先生が本日、はるばる馳せ参じてくださいました。新指導要領で特設された「特別活動、学級活動・内容[3]キャリア教育（進路指導）」、そして 県学力向上推進「PPⅡ」に関わる内容である。紗弥先生と6学年職員の「チャレンジ精神」「フロンティア精神」には感謝で一杯である。

■ 6学年（学）「吉田 将寿、仲里 紗弥」先生 [互見・3年研]



■【6の2】「吉田 将寿」



■【学活：キャリア教育】

■「授業の流れ」の素晴らしさ！

- ①【つかむ】「自分の夢」「なりたい自分とは」
- ②「学級のアンケート結果」の提示をする。
 - 「学習で努力することは大切だと思うか？」
 - 「学校で学んだ事は将来、社会で役立つ？」
 - 「家で、自分で計画を立てて学習してる？」
- ③【さぐる】「将来の夢」と「学習のつながり」について「ドリーム・スケジュール」を基に、他者との交流を通して考える。

（個【出発】⇒グループ【交流】⇒個【戻す】）

- ④【見つける】「自分の気づかなかった方法や工夫」を交流を通して、見つける。
- ⑤【解決策】「私の一歩、ステップアップしたこと」を黒板に提示する。（全員提示させた）
- ⑥【きめる】「個に戻す」「個々の課題に応じた目標になっているか」確認をする。

■「授業を振り返り」ながら再度点検！

- 「将来の夢」「なりたい自分」等、書き出す
- 「Dream Schedule」へ必要教科を書き出す
- 「自己のがんばりノート」を出し比較する。
- 「気づき」が生じる。ここがポイント！だ。
- 「友（グループ）との【交流！】が始まる」
- 「自己の課題」が見えてきた。（見える化）
- 「将来の夢」に必要なものが見えてきた。
- 「学習との繋がり」に気づき、見えてきた。
- 「友（他者）の夢」に前向きなアドバイス。
- 「生徒指導の三機能」を、押さえた流れで
- 「未来を拓く夢シート」「家庭学習ノート」、そして「Dream Schedule」が一つになる
- 「学級集団」の素晴らしさ！個々人一人を大切に「共感的な人間関係」が良い！
- 「自己存在感」一人一人を大切にしている。
- 「アウト・プット」（発信・発言）が容易に。
- 「友（他者）の良さ」が云える、人間関係。
- 「教師と児童」「児童同士」の関係性が良い。
- 「支持的風土づくり」を将来に実践している。
- 「学級活動（3）キャリア形成」と「自己実現」、「本県のPPⅡ」、「本校の研究内容」を見事にリンクさせて実践してる。Good.！
- 「本校の3年研授業」内容を聞きつけて、義務教育課の山内かおり主事も飛入の参観。
- 本時の題材の「Choice（選択）」と「Link（つなぎ）」の、「Quality」が高い！！

■【6の1】「仲里 紗弥」



【感想】 「一人一人のキャリア形成と自己実現」、を図る…。その為「自己の課題」を、見える化した！

- 「学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践する取組」
- 「学ぶことの意義や、現在及び将来の学習と自己実現とのつながりを考えた、学習の見通しを立てた取組」
- 「(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長、自己の課題の解決の為に、意思決定して実践したりする」
- 「(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現、一人一人の課題の原因や理由や背景などを、多様な視点から」
- 「将来の生き方を描くため、学習することの楽しさや価値に気づき、学習の見通しや大切さを理解させる」
- 「自分に合った効果的な学習方法、学ぶことが将来の自己実現に、どう繋がっていくかについて考えたり」
- 「こうした過程を通して、生涯にわたって、主体的に学び続けようとする態度を 養うことが大切である」



校長より

